

# チャレンジする Someone NEWS

～挑戦者の履歴書

## 第26回

### 野口正行氏 (一般財団法人日本空手道振興協会会長)

#### 雷神ジャパンは、ライジングSUN

一般社団法人 洸楓座 代表理事 佐藤建吉

#### 「風神雷神」が つながり

筆者の事務室には、俵

屋宗達の風神雷神の壁画がある。2年ほど前のある日、今回紹介する空手道振興協会・会長の野口正行氏が、「いい絵がある。それは、日本の伝統になりますね。」と、来てくれた。実は、事務所が隣同士である。いろいろ立話すると、雷神の左手は、空手の「突き手」の型であると教えてくれた。風力発電や自然エネルギーの象徴として風神雷神を掲示していたが、新たな視点を得たのである。



野口正行氏近影

「突き手」は体験したこともなく全く無知である。剣道や柔道などの武道も経験がない。闘争心を持つ

たずしてこの歳までやってきた。が、日本の武道や芸道の真髄を知ろうとすると、その作法や技には、知恵や深慮に裏打ちされた奥義があることに気づく。同様に、文芸や工芸などにも奥義がある。それは、日本の伝統や所作になり、文化や日常に息づいている。

このコラムでは、この人物を紹介する。回となった。そこで、今回は、空手道の普及家である野口正行氏を紹介させていただきます。空手道に

「空手道とは、沖縄に誕生したからである」という意味に解したからであるという。空手では、棒や刃物のような武器を持つ敵に対して、素手であっても対処できるように訓練しているのだ。

1929年(昭和4年)、後述する船越義珍が師範を務めていた慶應義塾大学唐手研究会で、般若心経の「空」の概念から唐手を空手に改めると発表したのをきっかけに、本土での空手表記が

迅速に広まった。さらに他の武道と同じように「道」の字をつけ、「唐手」から「空手道」に改められた。

現在、空手道には、剛柔流・松濤館流・糸東流・和道流の4大流派があるという。野口氏の協会のHPから抜粋して示す。

【剛柔流】 流祖・創始者／宮城長順(1888～1957)。沖縄県那覇市東町に生まれ、東恩納寛量に学ぶ。1922年に上京。文部省主催の第1回体育博覧会で演武、唐手術(空手道の当時の名称)を初めて本土で公開した。東京に留まり、松

【松濤館流】 流祖・創始者／船越義珍(1868～1957)。沖縄県首里山川町に生まれ、首里手の大家・糸洲安恒(安里安恒)に学ぶ。1922年に上京。文部省主催の第1回体育博覧会で演武、唐手術(空手道の当時の名称)を初めて本土で公開した。東京に留まり、松

【糸東流】 流祖・創始者／摩文仁賢和(1889～1952)。沖縄県首里市で生まれ、首里手の大家・糸洲安恒(安里安恒)に入門。19才の時に宮城長順の紹介により、那覇手の祖である東恩納寛量に教えを受けた。1934年、大阪に空手道場を開設。これ

【和道流】 流祖・創始者／大塚博紀(1892～1988)。茨城県下館市で生まれ、江橋長次郎から為我流柔術の手ほどきを受ける。そして13歳の時、中山辰三郎のもとで神道場心流柔術を学んだ。1922年、大塚市に生まれた。中学1年

【野口正行氏】 野口氏は、1950年長野県に4000名の道場生と50名の指導者を持つ。その前文には空手道についての意気込みが盛り込まれている。また、手順に従って技を掛け合う「約束組手」、自由に技を掛け合う「自由組手」、さらには勝敗を目的とした「組手試合」が存在する。

【組手】 組手は、主に二人で相対しておこなう練習形式である。決まられた手順に従って技を掛け合う「約束組手」、自由に技を掛け合う「自由組手」、さらには勝敗を目的とした「組手試合」が存在する。

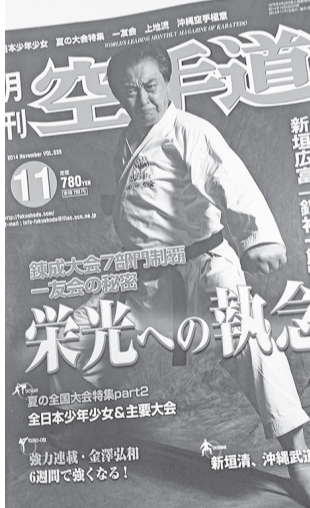
【約束組手】 約束組手は、主に二人で相対しておこなう練習形式である。決まられた手順に従って技を掛け合う「約束組手」、自由に技を掛け合う「自由組手」、さらには勝敗を目的とした「組手試合」が存在する。

【自由組手】 自由組手は、自由に技を掛け合う練習形式である。決まられた手順に従って技を掛け合う「約束組手」、自由に技を掛け合う「自由組手」、さらには勝敗を目的とした「組手試合」が存在する。

【組手試合】 組手試合は、主に二人で相対しておこなう練習形式である。決まられた手順に従って技を掛け合う「約束組手」、自由に技を掛け合う「自由組手」、さらには勝敗を目的とした「組手試合」が存在する。



【空手道とは】 空手道は、沖縄に誕生したからである」という意味に解したからであるという。空手では、棒や刃物のような武器を持つ敵に対して、素手であっても対処できるように訓練しているのだ。



【空手道とは】 空手道は、沖縄に誕生したからである」という意味に解したからであるという。空手では、棒や刃物のような武器を持つ敵に対して、素手であっても対処できるように訓練しているのだ。